

Jamf Parent の使い方

With Jamf Pro



保護者様向け

モバイルデバイス管理の機能を活用して、保護者様にお子様の学習を支援する環境を提供します。

- 1.Jamf Parent のインストール
- 2.Jamf Parent 初回起動時設定
- 3.学習者用タブレットとのリンク
- 4.デバイスルールの作成
- 5.デバイスルールの編集



1.Jamf Parent のインストール



操作:
保護者デバイス

iOS デバイス編

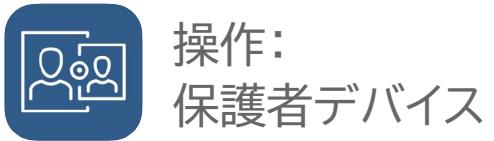


iOS デバイス向け

QRコード^{※1}をカメラで読み取るか
App Store で「Jamf Parent」と検索



1.Jamf Parent のインストール

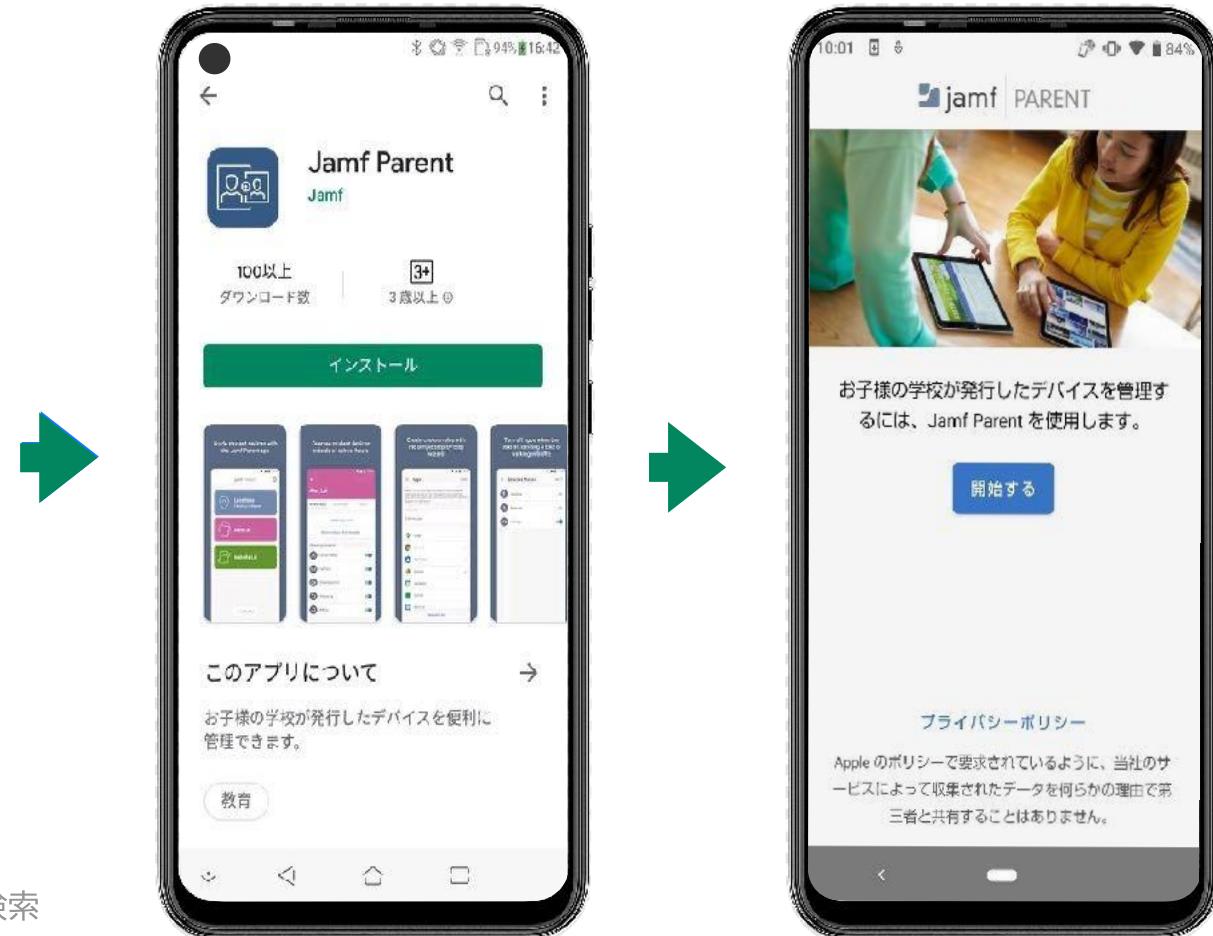


Android デバイス編



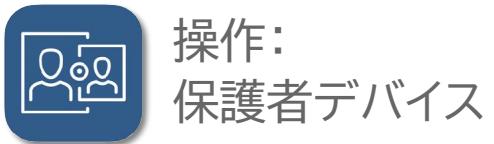
Android デバイス向け

QRコード[®](※1)をカメラで読み取るか
Google Play Store で「Jamf Parent」と検索



Androidデバイスのモデルにより実際の操作画面が異なる場合があります。
以後操作画面や項目の名称はiOSの画像でご説明します。
(※1)QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

2.Jamf Parent 初回起動時設定



各種設定の確認

① 「承認」をタップ



② 「続行」をタップし、
「OK」をタップ



③ 「続行」をタップし、
「Appの使用中は許可」をタップ



④ 「続行」をタップし、
「許可」をタップ



3.学習者用タブレットとのリンク



操作：
学習者用タブレット

学習者用タブレットとリンクするときの注意点1

①次のページから、学習者用タブレットとのリンク設定を行います。

下記の内容をご確認いただき、次のページにお進みください

(1)"**学習者用タブレットとのリンク**"および保護者の方が"**制限**"をかけることができる/できない時間帯は、以下の表をご参照ください。

項目	平日 (月曜日～金曜日)	休日 (土曜日・日曜日・祝日)
設定できる時間帯	16:00～翌8:00	終日
設定できない時間帯	8:00～16:00	なし

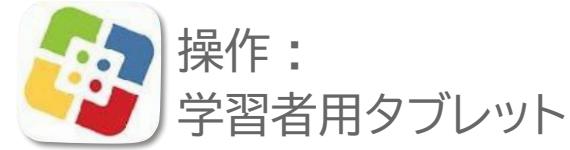
表1:Jamf Parent設定可否時間帯

※長期休業中は終日「設定できる時間帯」となっています。

(2)学習者用タブレットがインターネットに接続されている状況で操作をお願いいたします。

インターネットに接続されていない場合、リンクの設定ができません。

3. 学習者用タブレットとのリンク



学習者用タブレットとリンクするときの注意点2

(3) 設定できない時間帯(8:00~16:00)にデバイスのリンク(QRコード®(※1)スキャン実行)を行うと、以下のエラーメッセージが表示されます。

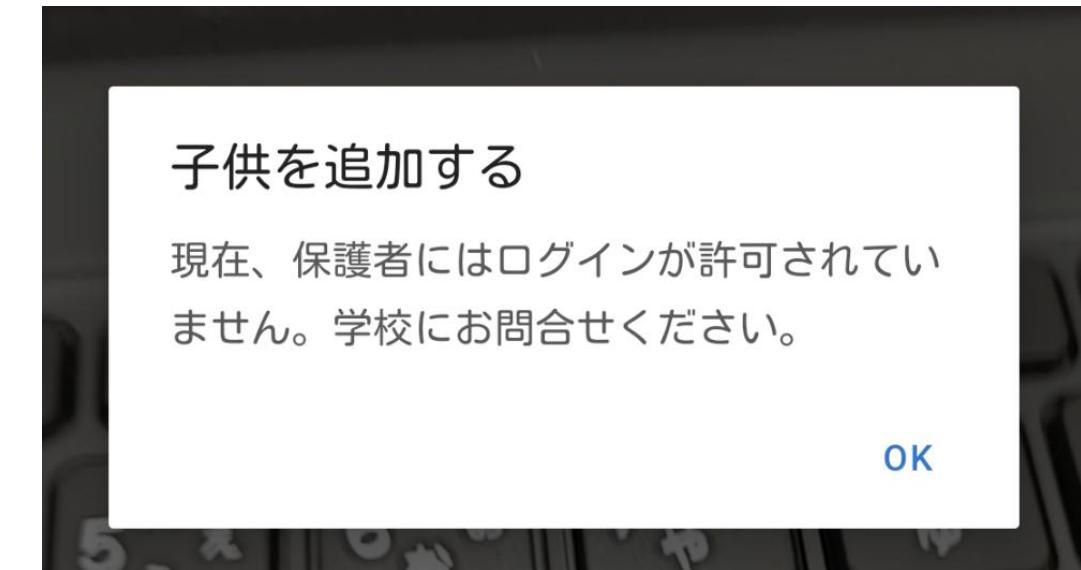
初回
エラーメッセージ



2回目以降
エラーメッセージ



画1:Jamf Parent制限時間帯のリンクエラーメッセージ(注1)



画2:Jamf Parent制限時間帯のリンクエラーメッセージ(注2)

(注1) 画像はiOSデバイス画面のメッセージになります。

(注2) 画像はAndroidデバイス画面のメッセージになります。

(※1) QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

3. 学習者用タブレットとのリンク



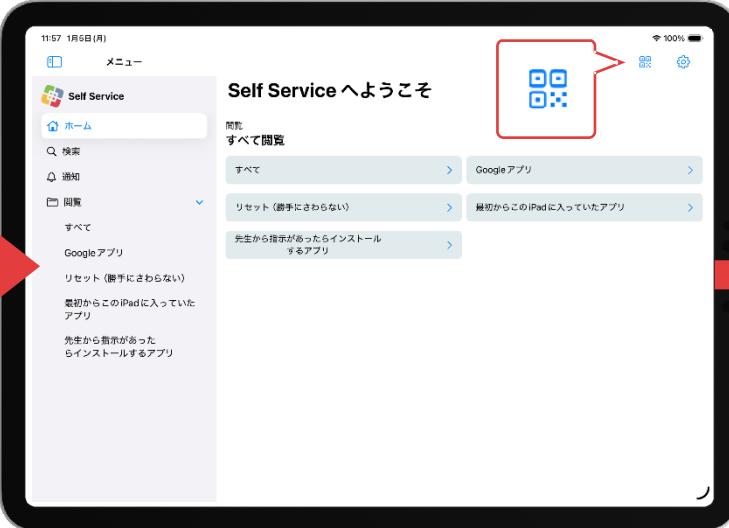
操作：
学習者用タブレット

学習者用タブレットのSelfServiceアプリでQRコード®(※1)を表示し、保護者デバイスのJamf Parent アプリで読み込む

① ホーム画面で「Self Service」を
タップ



② 右上のアイコンをタップ



③ QRコード®(※1)が表示される



3. 学習者用タブレットとのリンク



操作：
保護者デバイス

学習者用タブレットのSelfServiceアプリでQRコード®(※1)を表示し、保護者デバイスのJamf Parent アプリで読み込む

④ タップ



⑤ タップ



⑥ QRコード®(※1)を
スキャン



⑦ リンク中



⑧ リンク完了



4. デバイスルールの作成



操作：
保護者デバイス

ルール作成するときの注意点1

- ① 次のページからデバイスルールの設定(アプリやWebサイト、制限をかける時間帯の設定)を行います。

下記の内容をご確認いただき、次のページにお進みください

- (1) 学習者用タブレットがインターネットに接続されている状況で操作をお願いします。
- (2) チェックがついたアプリが[使用を許可する](#)アプリ、
[チェックがついていない](#)アプリが[使用を制限する](#)アプリとなります。
- (3) アプリの制限を設定しますと、「[指定した時間帯](#)」はホーム画面のアイコンが非表示となり、アプリのデータや機能を使用できなくなります。
非表示および使用不可となるだけであり、データの削除は行われません。
「[指定した時間帯](#)」を過ぎますと、アイコンが表示され、アプリのデータや機能を使用することができます。
- (4) 制限したアプリのアイコンが再表示されるとき、アイコンの並び順が非表示となる前と異なる場合があります。
また、ホーム画面のアイコンをフォルダ分けしている状態で、フォルダ内のすべてのアイコンが非表示となつた場合、
フォルダが削除されてしまいます。
この場合、「[指定した時間帯](#)」を過ぎ再表示されるアイコンはフォルダ分けされずにホーム画面上に表示されます。
- (5) 「[許可されたアプリ](#)」に表示されているカテゴリ“Social Media”, “Games”, “Entertainment”, “Shopping”, “Music”
をオフにしないでください。
オフにすると該当するカテゴリに属するアプリは非表示となり、アプリのデータや機能を使用できなくなります。
※[作成したデバイスルールより強い設定](#)になります。

4. デバイスルールの作成



操作：
保護者デバイス

ルール作成するときの注意点2

(6)以下のアプリを制限しますと、操作・セキュリティに影響がありますので、**制限しないようにお願いします。**

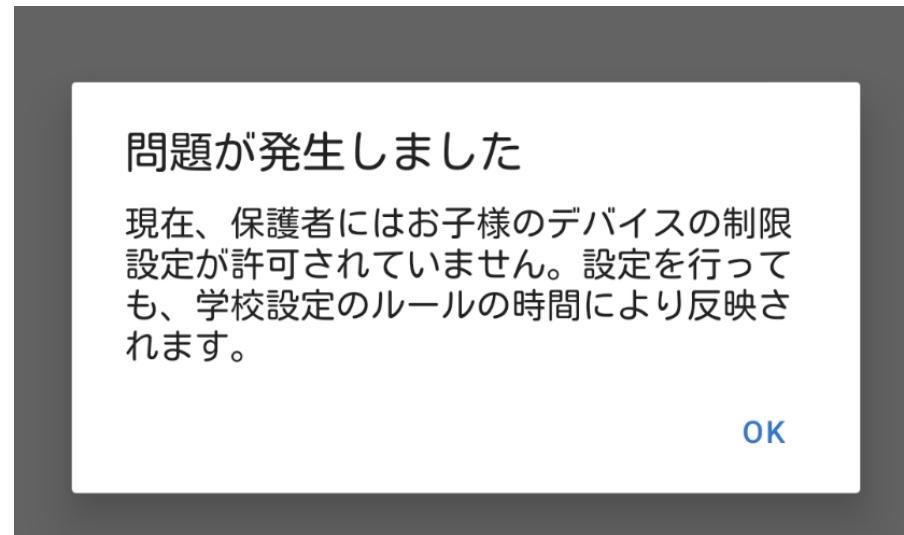


iF@Agent



Self Service

(7)設定できない時間帯(8:00～16:00)に”ルールの作成”などを行うと、
以下のエラーメッセージが表示されます。



画3:Jamf Parent制限時間帯による、ルール作成エラーメッセージ(注1)

4. デバイスルールの作成



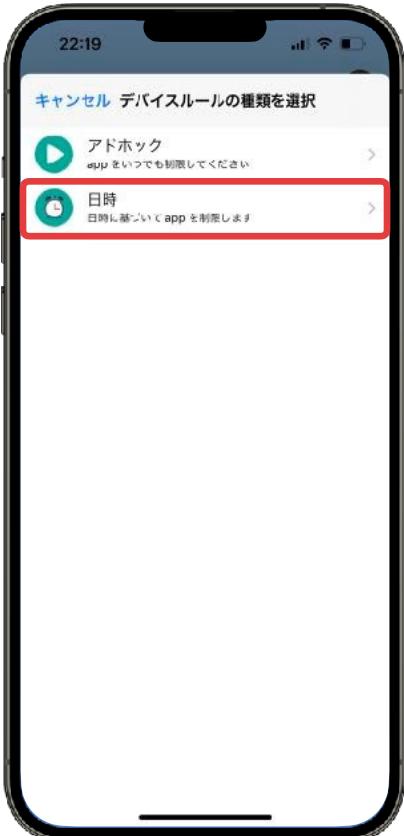
操作：
保護者デバイス

「ルール」を作成する。

- ① 「デバイスルール」を選択し、
「デバイスルールの作成」をタップ



- ② 「日時」をタップ



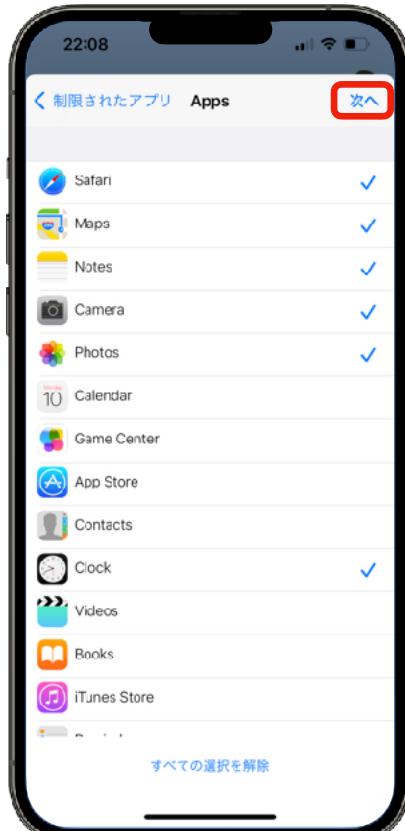
- ③ 「カスタム」を選択し、
「次へ」をタップ



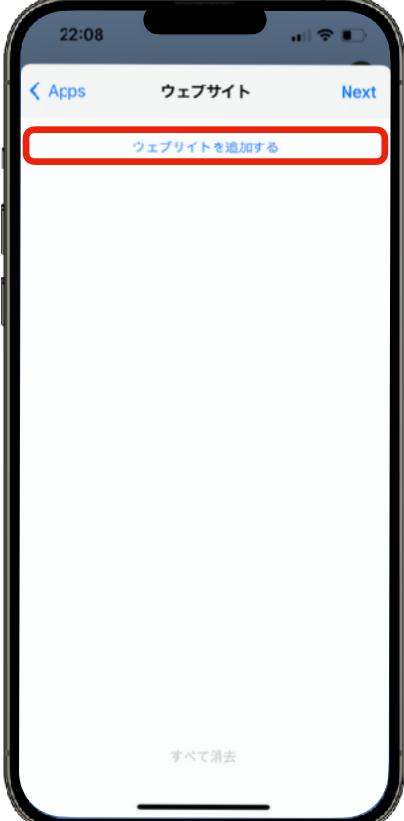
4. デバイスルールの作成

「App・ウェブサイト」を制限をする。

- ④ 使用を許可するアプリを選択し、「次へ」をタップ



- ⑤ 「ウェブサイトを追加する」をタップ
※ウェブサイトを追加せず、「Next」をタップすると
すべてのウェブサイトの閲覧できます。(注1)



- ⑥ 閲覧を許可するURLを追加し、「Next」をタップ

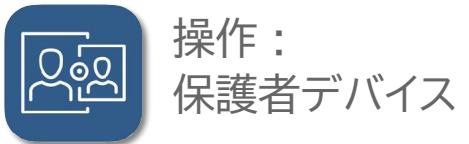


(注1) 教育委員会で使用しているフィルタリングサービスで制限されているウェブサイトにはアクセスできません。



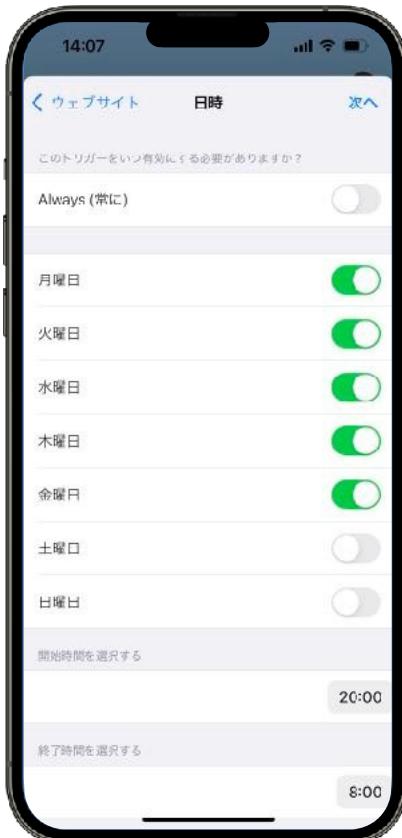
操作：
保護者デバイス

4. デバイスルールの作成



「指定した時間帯(注1)」に制限をする。

- ⑦ デバイスルールを適用させる日時(注1)を指定し、「次へ」をタップ



- ⑧ デバイスルールに名前をつけ、「保存」をタップ



- ⑨ 作成完了



5. デバイスルールの編集



操作：
保護者デバイス

編集する「ルール」を選択する。

① 「デバイスルール」をタップ



② 「編集」をタップ



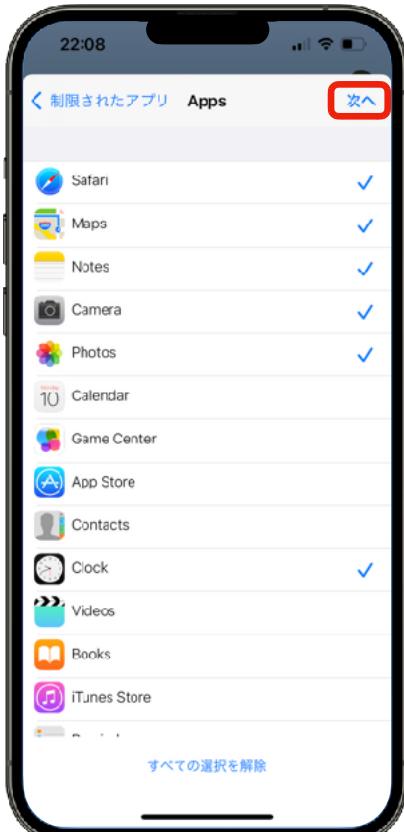
③ 編集する”ルール名”をタップ



5. デバイスルールの編集

「App・ウェブサイト」を編集する。

- ④ 使用を許可するアプリを選択し、「次へ」をタップ



- ⑤ 「ウェブサイトを追加する」をタップ
※ウェブサイトを追加せず、「Next」をタップするとすべてのウェブサイトの閲覧できます。(注1)

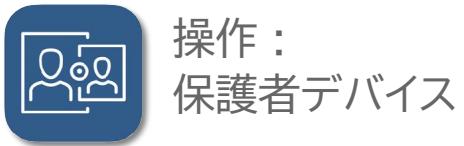


- ⑥ 閲覧を許可するURLを追加し、「Next」をタップ



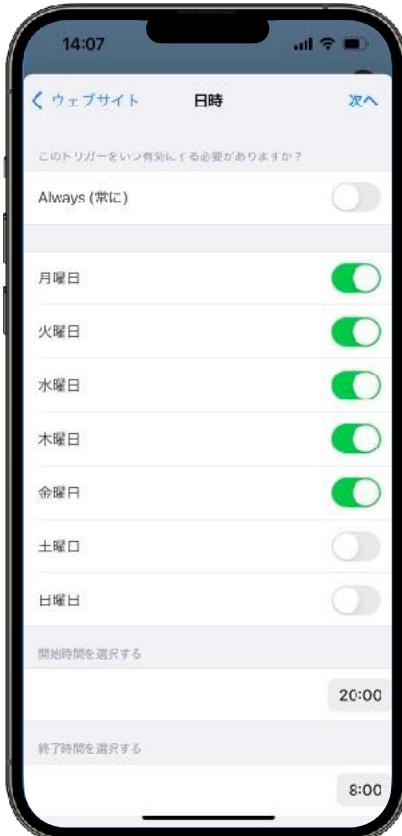
操作：
保護者デバイス

5. デバイスルールの編集



「指定した時間帯(注1)」を編集をする。

- ⑦ デバイスルールを適用させる日時(注1)を指定し、「次へ」をタップ



- ⑧ 「保存」をタップ



- ⑨ 編集完了



デバイスルールを削除



操作：
保護者デバイス

「アクティブデバイスルールを停止」は、アドホックタイプのルールのみ適応されます。日常タイプのルールを停止する際は、削除してください。

① 削除したいルールを「左ヘスライド」



② 「削除」をタップ



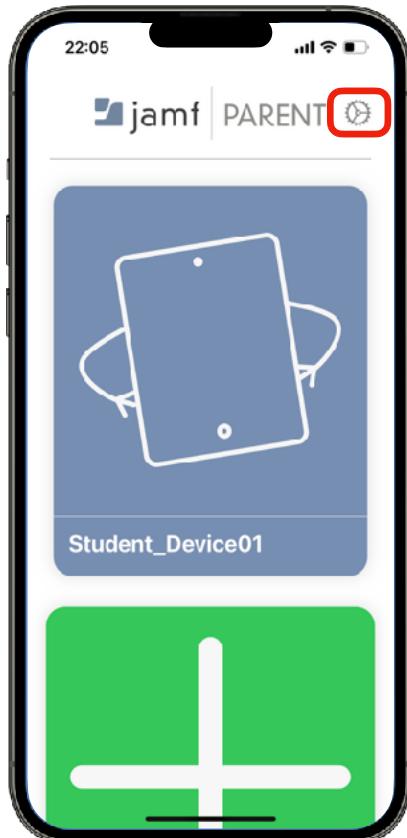
学習者用タブレットのリンクを解除



操作：
保護者デバイス

この操作をすると、再度リンクをするまで、保護者デバイスは学習者用タブレットを管理できなくなります。

① 設定アイコンをタップ



② 学習者用タブレット名の隣の「削除」を
タップ



③ 「はい」をタップすると、
学習者用タブレットとのリンク解除完了



よくあるご質問

Jamf Parentを登録する際、もしくは起動するとエラーが表示されました。

→20ページの”学校が学習者用タブレットを管理する時間帯”をご確認ください。

授業への影響を考慮し、本機能は利用ができる時間帯が決まっています。

この学校指定の時間帯以外で登録を試みるとエラーが生じますので指定時間に再度お試しください。

学習者用タブレットを複数台の保護者用デバイスでの管理できますか？

→はい、可能です。

デバイス毎にSelf Service アプリから登録用QRコード®(※1)を新しく読み込む必要があります。

学習者用タブレットにデバイスルールの設定が反映されません。

→学習者用タブレットがインターネット接続された時に設定が反映されます。

まずは、インターネットに接続されているかどうか御確認下さい。

特定のサイトだけを見せないようにすることはできますか。

→「特定のサイトだけを見せないようにする」という設定はできません。

閲覧を認めるサイトのURLを登録すると、それ以外のサイトを閲覧することができなくなります。

保護者用デバイスを機種変更する際の注意事項はありますか？

→機種変更前に学習者用タブレットのリンクを解除し、新しいデバイスでJamf Parentを再設定してください。

学習者用タブレットの制限を外せなくなってしまいました。

→各学校のICT担当までお問い合わせください。

制限を強制的に解除することができます。



(※1) QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他

学校が学習者用タブレットを管理する時間帯

(保護者様がJamf Parent で制限できない時間帯)

月	8:00	~	16:00
火	8:00	~	16:00
水	8:00	~	16:00
木	8:00	~	16:00
金	8:00	~	16:00
土	なし (Jamf Parentで終日制限することができます)		
日	なし (Jamf Parentで終日制限することができます)		

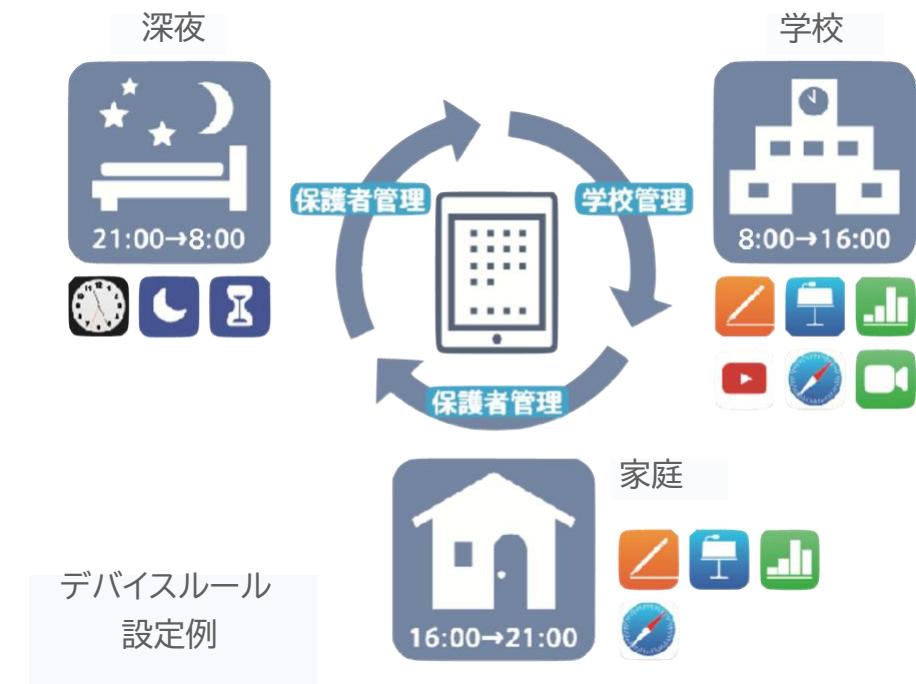
長期休業中・祝日 なし (Jamf Parentで終日制限することができます)

(長期休業や祝日になりましたら、制限の設定をすることができます。長期休業明けに設定が反映されない場合、デバイスルールの再設定が必要となります)

アプリに関する問い合わせ先

お子様が通われている学校または、

さいたま市教育研究所 kenkyujo@saitama-city.ed.jp



制限してはいけないアプリ



iF@Agent



Self Service